

# 東京原水協ニュース

2010年11月6日 No3  
原水爆禁止東京協議会  
豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館  
TEL03-5395-4222 (F)5395-4220  
tokyo-gensuikyo@peace-21.org

## 14の大使館を訪問、核兵器のない世界を話合いました



アブデルナーセル・エジプト大使と高草木事務局長

### 核兵器のない世界を署名提出



10月22日、東京82万2千筆署名を含む729万6千筆を笠井亮衆議院議員を通じて国会に提出しました。

## 世田谷原水協は国連軍縮週間に宣伝カーを走らせる

10月25日、世田谷原水協は国連軍縮週間の行動として、区内に宣伝カーを走らせて「核兵器のない世界を」つくろうと訴えました。区役所前、団地及び駅前と5か所では車を止めて宣伝をしました。「核兵器廃絶条約をむすばせよう一国連提出の署名用紙を500枚配布しました。団地で宣伝していると「手を振って」声援をしてくれる人もいました。

世田谷原水協は、本年5月NPT会議ニューヨーク行動成功をジャンプ、8月原水爆禁止世界大会成功をステップ、そして国連軍縮週間行動の成功をジャンプと運動を展開しています。

### エジプト大使は、唯一の被爆国とその国民に世界は注目していると

10月21・22日、東京8名を含む日本原水協は6つの核保有国を含む15カ国の大使館を訪問し「核兵器禁止条約のすみやかな交渉の開始」を求め要請と意見交換を行いました。次の様な見解が示されました。

①エジプトは「非同盟諸国の議長国として核兵器の完全廃絶の立場で臨んでいます。日本政府とは年に2回核軍縮問題で協議をしています。②核大国ロシアのバルィ大使は、核兵器をなくす事により、世界はより安全になるという考え方には全面賛成。③イギリスは「核搭載原子力潜水艦の更新を見送りにした。米国が核兵器のない世界を発言し、英国として核軍縮の発言できるようになった。④ノルウェーは「核兵器国英国への協議を持ちかけ共同して核兵器廃絶を目指している。日本政府にも機会あるごとに話している。いま行動のとき。⑤ニカラグワの155都市すべてが平和市長会議に加盟しています。核兵器は最悪の環境破壊・人類絶滅の兵器です。15年後で被爆者は少なくなるでしょう。平和を追求するとき被爆者の話が重要ですと。

どの国も、唯一の被爆を体験した日本の国と国民が核兵器廃絶にどのように立ち向かうのか注目していました。

